

地域おこし協力隊が行く!

2020.10
Vol.41

8月に新しく就任しました!

NEW★ウォク・ジェイク隊員(観光地域づくり支援)

平成27年にアメリカから来日し、信濃町で英語の先生として5年間働いてきて長野が好きになりました。東京に近く便利で、自然がまだ残っている感じがしたため東御市を選びました。

趣味は登山、スキー、長距離走などです。サブ3マラソン(42.2キロを3時間以内に走ること)と日本の百名山の頂を目指したいと思っています。



将来は登山、スキーなどを通じて、子どもが自然を鑑賞できるようなアウトドア教室を営みたいです。海外の留学生の子どもたちと一緒に活動することも考えています。東御市の発展を支え、地域の魅力を多くの人々に発信していきたいです。

隊員通信

大久保 真平(観光地域づくり支援)

着任してから3年間、前半は田中駅の観光情報ステーション、後半はワイン&ビアミュージアムにて東御市の魅力を多くの方に知っていただく活動をさせていただきました。

観光情報ステーションでは、来られた方の気持ちになって観光案内や、観光ガイドの手配等の調整を行い、旅行業も経験することができました。

ワイン&ビアミュージアムでは、飲み手の気持ちになってワインやワイナリー、ビールの説明をしてきました。

どちらの活動も、地域やワイナリーの方々から言葉をかけていただき、最初の頃は不安でいっぱいでしたが、今は感謝でいっぱいです。ありがとうございました。退任後も東御市におりますので、今後も宜しくお願い致します。



発見!こんなところで活動しています

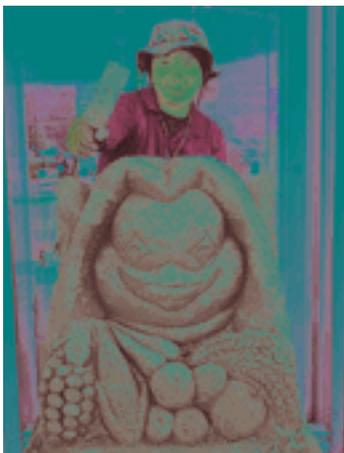
堀田 光彦(文化振興支援)

早いもので着任してから約1年が経ちました。天空の芸術祭担当として東御市に来ましたが、去年は台風19号で縮小、今年はコロナ禍で芸術祭が中止になってしまいました。芸術活動自体が厳しい中、自分に出来ることを考え制作したのが5月に完成した北御牧庁舎前の女神と馬の像です。そして7月から始めたのが「地域を護る砂のアマビエ」プロジェクト。東御市の観光地や人が多く利用する施設などに砂のアマビエを作り、疫病退散を祈りながら、新しい生活様式を促していくというものです。この原稿を書いている時点で市内には

20体のアマビエが完成し、これからも増えていく予定です。

市民の皆さまの健康を祈りながら、また協力して頂いている多くの方々に喜んで頂けるよう、引き続き東御市のために活動していきたいと思います。

写真のアマビエは市職員、社会福祉協議会、上下水道料金センター、東御LC宮坂氏などのご賛同により市役所前に設置されました。



下岡 稜児(中心市街地活性化支援)

田中地区地域づくりの会のみなさんと一緒に育てた「田中まちなかハロウィン」用のかぼちゃ。(市報7月号で紹介)約150個のかぼちゃを田中駅・観光情報ステーション・商店街に飾る予定です。



市長・副市長へ向けた「令和2年度地域おこし協力隊活動報告会」が開かれました。取り組んだ内容・成果や下半期の目標などを発表。今年4月以降に着任した新隊員3名と、9月末に任期満了となる隊員のあいさつも行われました。

編集担当・地域おこし協力隊 杉田